

平成19年度
第4回岐阜県事業評価監視委員会

【道路建設課所管事業審議資料】

再評価対象箇所一覧表	1
再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について		
地域連携推進事業（道路改築事業）	2
地方道路交付金事業（地方道路整備臨時交付金）	3
平成19年度 再評価実施箇所（附図）		
地域連携推進事業（道路改築事業）【タラガバイパス】	4
地方道路交付金事業（地方道路整備臨時交付金）【小島山・番場山】	5

平成19年度 再評価対象箇所一覧表
(道路建設課)

番号	事業名	路線・河川名	箇所名 (市町村名)	工区名	採択 年度	完了 予定 年度	事業概要			全体事業費 (百万円)		実施済み額 (百万円)		進捗率 (%)	経過年数	地元の評価・ 協力体制	社会状況の 変化	安全で円滑な 交通	自然環境へ の配慮	コスト削減へ の取組	地域連携の 推進	その他	効果分析 (費用 便益比)	対応方針	特記事項
							全体延 長 km	供用済 延長 km	供用 率 %	用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等													
	公共道路改築	一般国道 256号	関市・ 郡上市	タラガバイバ ス	H10	H20	4.7	0	0.0%	8,650	7,832	90.5	10	促進要望強 い	中部電力川 浦水力発電 所計画の中 止	事前通行規 制・冬期通行 止区間の解 消 第二次緊急 輸送道路	地形改変の 少ないトンネ ル計画の採 用	掘削土の有 効利用	中濃圏域内 の連絡機能			全体 1.5 残事業 16.0	継続		
										139	139	100.0													
										8,511	7,693	90.4													
	地方道路交 付金事業	主要地方道 岐阜美濃線	岐阜市	こじまやま 小島山 ばんばやま 番場山	H10	H23	3.2	1.0	32.1%	7,833	4,493	57.4	10	促進要望強 い	岐阜環状線 の開通	都市部にお ける渋滞緩和 道路屈曲箇 所や幅員狭 小区間の解 消 第2次緊急輸 送道路の整	地形改変の 少ないトンネ ル計画の採 用 河川環境に 配慮	掘削土の有 効利用 新技術の採 用	岐阜市北東 部における東 海北陸自動 車道や岐阜 環状線へのア クセス機能 岐阜・中濃圏 域間連絡機 能			全体 2.9 残事業 5.3	継続		
										1,953	1,440	73.7													
										5,880	3,053	51.9													

事業制度について	事業名	地域連携推進事業（道路改築事業）	
	事業目的	地域の交流・連携を促進すること、道路交通の円滑化を図ること等を目的に、現道の拡幅や線形改良またはバイパス等の建設を行う。	
	採択基準	一次改築、二次改築 ・事業着手からおおむね8年以内に完成することを目標に整備する。（国道） 特殊改良事業 ・局部的に線形等が不良のため交通障害となっている区間の除却、人家連たん区間等における植樹帯の設置等の小規模な改良工事で緊急に施工する必要のあるもの。事業着手からおおむね4年以内に完成することを目標に整備する。	
	概要（メニュー）	・一次改築事業 未改良、未舗装の道路の整備 ・二次改築事業 環状線の構築や交通のあい路（踏切・屈曲・人家連たん等）の改築 ・特殊改良1種事業 局部的に線形等が不良のため交通障害となっている区間の除去	
費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目《B》	・走行時間短縮便益 ・走行費用低減便益 ・交通事故減少便益
		その他項目	・環境改善（大気汚染、騒音、エネルギー） ・住民生活保全 ・地域経済の発展
費用便益費の基準	費用《C》の算定	・費用の積み上げ基準＝道路整備に要する事業費＋道路維持管理に要する事業費 ・単価基準（国土交通省道路局より原単位を提示） ・評価期間は40年間	
	費用便益費の基準	道路事業の評価においては、投資効果を示す指標として費用便益比（B/C）を用いており、新規採択においてはB/C 1.0であることを事業採択の前提条件としている。再評価においては、残事業および事業全体の費用便益分析を実施する。	

事業制度について	事業名	地方道路交付金事業（地方道路整備臨時交付金）	
	事業目的	一定の地域において、地域の課題に対応し、複数一体となって行われる都道府県道及び市町村道の事業に対して、地方道路整備臨時交付金を交付することにより、地方の創意工夫を活かした個性的な地域づくりを推進することを目的としている。	
	採択基準	公共公益施設の整備に関連して、地域の社会的特性に即して地域住民の日常生活の安全性若しくは利便性の向上又は快適な生活環境の確保を図るため、一定の地域において、一体的に行われる必要がある複数の事業（要素事業）から構成される事業であり、都道府県道又は市町村道の改築又は修繕事業を対象とする	
	概要 (メニュー)	岐阜県では、主要拠点を結ぶ道路のアクセス強化及び道路交通の円滑化を図り、地域の良好な環境形成と産業活性化を支援する道路整備を行っている。 ・生活中心地から30分で到達可能な地域の面積比率の向上（43.9% → 44.5%） ・道路整備による走行損失改善指標（0 → 3,000百万円/年） 以上の目的に資する事業を行うこととしている。	
費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目《B》	<ul style="list-style-type: none"> ・走行時間短縮便益 ・走行費用低減便益 ・交通事故減少便益
		その他項目	<ul style="list-style-type: none"> ・環境改善（大気汚染、騒音、エネルギー） ・住民生活保全 ・地域経済の発展
	費用《C》の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・費用の積み上げ基準 = 道路整備に要する事業費 + 道路維持管理に要する事業費 ・単価基準（国土交通省道路局より原単位を提示） ・評価期間は40年間 	
	費用便益費の基準	道路事業の評価においては、投資効果を示す指標として費用便益比（B/C）を用いており、新規採択においてはB/C = 1.0であることを事業採択の前提条件としている。再評価においては、残事業および事業全体の費用便益分析を実施する。	

平成19年度 再評価実施箇所（附図）

番 号		事 業 名 (路線・河川名等)	道路改築事業 一般国道256号
事業実施箇所	せきしいたどり 関市板取 ~ ぐじょうしはちまんちょうなび 郡上市八幡町那比 (タラガバイパス)	事業主体	岐 阜 県
採択年度	平成 10 年	完了予定年度	平成 20 年
再評価の実施基準	事業採択後10年間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>一般国道256号は、岐阜県岐阜市を起点とし、長野県飯田市に至る延長224kmの幹線道路である。本路線は、岐阜市と関市板取、郡上市等を連結するとともに、中濃地域における産業の発展、地域の振興、生活、観光を支える重要な路線である。</p> <p>本事業は、関市板取地内から郡上市八幡町那比地内までの異常気象時通行規制区間、冬期閉鎖区間および幅員狭小区間・線形不良区間の解消を目的としたバイパス事業であり、本事業の完成により地域間の連携の強化及び安全で円滑な交通に寄与するものである。</p>		
事業概要	<p>事業延長 L = 4.71 km (うちタラガトンネル L = 4.571 km)</p> <p>車道幅員 W = 6.5 m (2車線)</p> <p>歩道幅員 W = 3.5 m (片側、トンネル部は歩道なし)</p>		
概要図	 <p>The map illustrates the proposed Taraga Bypass (red line) connecting Seki Itadaki (起点 関市板取) to Naniwa-cho, Yamanashi (終点 郡上市八幡町那比). The bypass length is 4,710m, with a tunnel section of 4,571m. The current route (green dashed line) is marked as an area for abnormal weather traffic restrictions (異常気象時通行規制(雨量)区間) and winter closures (冬期閉鎖区間). The bypass route is shown as a straight line, while the current route is winding and narrow. Two inset photos provide visual context: the left photo shows the current road condition with debris on the road (現道状況), and the right photo shows the planned bypass with a tunnel entrance (整備状況).</p>		

平成19年度 再評価実施箇所（附図）

番号	事業名 (路線・河川名等)		地方道路交付金事業 主要地方道 岐阜美濃線 バイパス
事業実施箇所	岐阜市中川原 ~ 岐阜市溝口 (小島山 番場山工区)	事業主体	岐阜県
採択年度	平成10年	完了予定年度	平成23年
再評価の実施基準	事業採択後10年が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>主要地方道岐阜美濃線は、岐阜都市圏北東部の放射道路の一つとして、岐阜市中心部と関市、美濃市を結ぶ幹線道路である。岐阜美濃線B P周辺地域は、道路密度が低く、迂回路がないなどの地勢的制約があることから、藍川橋や千鳥橋で著しく交通混雑を起こしている。</p> <p>本事業は、長良川右岸有料道路の接続道路として幅員狭小区間・線形不良区間の解消を目的としたバイパス事業であり、本事業の完成により岐阜市と、関市・美濃市の連携が強化され、物流・観光・地域振興へ寄与するものである。</p>		
事業概要	<p>事業延長 L = 3.168 km (うち供用済み L = 1.018 km)</p> <p>車道幅員 W = 6.5 m (9.0) m (2車線)</p>		
概要図	<p>全体計画 L = 3,168 m W = 6.5(9.0) m</p> <p>小島山工区 L=1,695m W=6.5(9.0)m</p> <p>番場山工区 L=1,473m W=6.5(9.0)m</p> <p>長良川右岸有料道路 L=1,425m W=6.5(9.0)m (H13.4.1開通)</p> <p>L=1,018m W=6.5(9.0)m (H19.3.3開通)</p> <p>至岐阜市街 (主)岐阜環状線 (主)岐阜美濃線</p> <p>至美濃市 (主)関本線 (主)岐阜美濃線</p> <p>小島山トンネル L=480m</p> <p>大瀬山トンネル L=940m</p> <p>浮場山トンネル L=457m</p> <p>溝口橋</p> <p>千鳥橋</p> <p>藍川橋</p> <p>千正橋</p> <p>津保川</p> <p>今川</p> <p>鏡岩</p> <p>洗滞ポイント</p> <p>加野高架橋</p> <p>岐阜市</p> <p>関市</p> <p>(-)上白金真砂線</p> <p>鶴飼い大橋</p> <p>長良川</p> <p>長良川リバーサイド道路</p> <p>至岐阜市街</p> <p>(主)川島三輪線</p> <p>清水山トンネル</p> <p>免走山トンネル</p> <p>抵瀬山トンネル</p> <p>(-)上白金真砂線</p> <p>既設道路</p> <p>他事業</p> <p>評価対象事業</p> <p>(現道状況)</p> <p>(整備状況)</p>		